ASEAN 大使通信
第 22 回　スタートアップとイノベーションの推進

2024 年（令和６年）９月 30 日

日 ASEAN 未来世代ビジネスリーダーズサミット準備メンバーとの会合
（2024 年９月 25 日、於大使公邸）

皆さん、９月はどのように過ごされましたでしょうか。ジャカルタの ASEAN 日本政府代表部では、ASEAN 本部事務局での各種会合や各国代表部との協議に出席しながら、幅広い分野での日 ASEAN 協力を進めています。また、ビエンチャンでは ASEAN 経済大臣関連会合や ASEAN エネルギー大臣関連会合、バンコクでは ASEAN ビジネスと人権ワークショップも開催されました。

今月は、日 ASEAN 経済共創に向けてのスタートアップやイノベーション関連の会合や行事に出席する機会が数多くありました。ブルーエコノミー・イノベーション・プロジェクト選考委員会、海洋と人間の安全保障研修、ERIA 大使会議での新イニシアティブの報告、大阪・関西万博公式キャラクターのミャクミャクの来訪、未来世代ビジネスリーダーズサミットのプレイベントと日インドネシア・ファストトラック・ピッチの開始イベント、スポーツ SDGs ワークショップなど盛りだくさんで、次世代の若者に焦点を当てた様々な取組の進展を感じました。

今回の大使通信では、これらの一連の会合や行事についてご報告し、今後の方向性について、皆さんと一緒に考えていきたいと思います。

自由で開かれたインド太平洋のリーダー育成研修：海洋と人間の安全保障
　ジャカルタ・ワークショップ閉会式（2024 年９月 19 日、於市内ホテル）

●「ブルーエコノミー・イノベーション」と「海洋と人間の安全保障」

本年５月に開始式典が行われた ASEAN ブルーエコノミー・イノベーション・プロジェクトには、ASEAN10 カ国と東ティモールのスタートアップ・中小企業・NGO・大学から 1,300 以上の提案が寄せられ、選考段階に入っています。

９月９日、選考委員会が開催され、ASEAN 事務局のシン事務次長、UNDP の下村インドネシア事務所長とともに、提案を絞り込む作業を行いました。10 月の ASEAN 関連首脳会議までに最優秀 60 企業・団体を発表し、さらに資金・インキュベーション支援や民間セクターとのマッチングを行う予定です。

9 月 19 日には、「自由で開かれたインド太平洋のリーダー育成研修：海洋と人間の安全保障」（FOIP 研修）のジャカルタ・ワークショップ閉会式が開催されました。私も出席して挨拶し、10 日間の研修を終了した ASEAN10 カ国と東ティモール・インド・スリランカの参加者 80 名に修了証書を手交しました。

この FOIP 研修は国連訓練調査研究所（UNITAR）が日本の支援で実施しています。第１フェーズは本年８月末まで 400 人以上が２ヶ月のオンライン研修を終了し、第２フェーズは今月ジャカルタでアジア地域約 80 名、10 月にフィジーで太平洋地域約 80 名に対面研修を行い、第３フェーズは来年２月に両地域から選抜された 50 名を対象に日本での対面研修を予定しています。

ERIA 大使会議（2024 年９月 12 日、於市内ホテル）

●ERIA 大使会議での新イニシアティブの報告

９月 12 日には、ERIA 大使会議（ERIA と ERIA 加盟国大使及びパートナー国大使との会議）が開催されました。ERIA は、2005 年の東アジア首脳会議（EAS）発足を機に、日本の提案により 2008 年に国際機関として設立された ASEAN と東アジアのシンクタンクです。

今回の会議では、ERIA から、昨年８月に設立された「ERIA デジタルイノベーション・サステナブルエコノミーセンター（E-DISC）」の最新の取組、ASEAN における脱炭素の取組みを促進するための「アジア・ゼロエミッションセンター」の設立、ASEAN において公共政策を強化していくことを目指す「ERIA スクールオブガバメント」の準備状況等について報告があり、その後、ERIA の今後の活動の方向性について議論が行われました。カオ・キムホン ASEAN 事務総長が冒頭挨拶で、ERIA の幅広い貢献への評価と期待とともに、「ERIA は私たち皆のものであると強調したい」と述べていたのが印象的でした。

私も、E-DISC やアジア・ゼロエミッションセンター、ERIA スクールオブガバメントの先進的な取組を評価するとともに、日本をはじめ幅広いパートナーが ERIA との連携を一層深めていくことへの期待を表明しました。９月 18 日、ERIA スクールオブガバメントは、ユドヨノ元インドネシア大統領を招いてのリーダーシップ・フォーラムを早速開催しました。これから、ERIA の幅広い活動や新たな取組をさらに後押ししていきたいと思っています。

日インドネシア・ファストトラック・ピッチ開始イベント
（2024 年 9 月 26 日、於 E-DISC）

●未来世代サミットとファストトラック・ピッチ

9 月 25 日から 26 日にかけて、日 ASEAN 未来世代ビジネスリーダーズサミットのプレイベントと、日インドネシア・ファストトラック・ピッチの開始イベントが相次いで開催されました。

日 ASEAN 未来世代ビジネスリーダーズサミットは、日 ASEAN 友好協力 50 周年を機に昨年 12 月には軽井沢で開催され、提言は特別首脳会議の場でジョコ大統領と岸田総理に手交されました。今回、本年 12 月予定の次回サミットに向けて、準備メンバー約 20 名がインドネシアのソロとジャカルタを訪問し、今後の課題や協力の方向性について議論しました。私も日 ASEAN 双方の最新のスタートアップや社会起業の取組を公邸や E-DISC で参加者から伺い、大きな潜在性を感じました。12 月のサミット開催を楽しみにしています。

日インドネシア・ファストトラック・ピッチも、昨年に続き開催するものです。日 ASEAN 双方の企業の協業によるオープンイノベーション・共創を促進するため、日 ASEAN の主要企業が課題（チャレンジ）を提示し、日 ASEAN をはじめ全世界の企業から提案を募ります。昨年はシンガポール、タイ、インドネシア、ベトナムのピッチイベントに 1,400 人以上が参加し、今年も同じ国で開催します。今回の開始イベントでは、６つの課題を発表しました。10 月 20 日の締切、12 月５日の本番に向けて、多数の応募を期待しています。

ミャクミャクのナラリャ ASEAN 事務次長表敬
（2024 年９月 17 日、於 ASEAN 本部事務局）

●ミャクミャクの ASEAN 訪問

来年の大阪・関西万博には ASEAN パビリオンも出展予定で、日 ASEAN 間の協力・交流の推進にとっても重要な機会です。９月中旬、大阪・関西万博の公式キャラクターのミャクミャクが、ジャカルタ日本祭り（JJM）参加のためジャカルタを来訪した機会に、ASEAN 本部事務局を訪問しました。

９月 17 日、ミャクミャクは、ASEAN パビリオン出展の代表（Commissioner-General）であるナラリャ ASEAN 事務次長（官房担当）を表敬して自分の分身のぬいぐるみを寄贈し、日 ASEAN 協力キャラクターの JABOT や私も同席しました。会議室のみならずロビーでも集合写真を撮影し、楽しいひとときになりました。動画はこちらです。今回の訪問は、日本でも報道されました。

大阪・関西万博は、来年４月 13 日から 10 月 13 日までの開催で、８月８日には会場で ASEAN デー行事を開催予定です。開催まで 200 日を切りました。ASEAN 各国と万博協会との人事交流も含め、大阪・関西万博が日 ASEAN 協力・交流推進のプラットフォームとなるよう後押ししていきたいと思います。

ASEAN Football4SDGs ワークショップ
（2024 年９月 26 日、於 FIFA インドネシア事務所）

●スポーツ SDGs ワークショップ

９月 26 日、ジャカルタの FIFA 事務所で、ASEAN Football4SDGs ワークショップが開催されました。これは、昨年 10 月に日 ASEAN スポーツ SDGs 協力として ASEAN Football4SDGs プロジェクトが開始して以来、日 ASEAN 双方の関係者が一同に会する初めての行事となりました。

2022 年の ASEAN 首脳会議で、「ASEAN 共同体構築と SDGs 達成のためのスポーツの役割に関する ASEAN 宣言」が採択され、昨年９月の日 ASEAN スポーツ大臣会合の「チェンマイ宣言」では、ASEAN Football4SDGs プロジェクト実施を皮切りに、スポーツを通じた SDGs 達成に向けて日 ASEAN 協力を推進することが合意されました。その後、フェーズ１として ASEAN と世界のベストプラクティス調査を進め、フェーズ２として本年９月からインドネシア・カンボジア・タイの３カ国でワークショップを開催する段階になりました。

今回のワークショップでは、ASEAN 事務局と日本の代表部・大使館に加え、インドネシアの青年スポーツ省とサッカーチーム、日本の J リーグとガンバ大阪・浦和レッドダイヤモンズ、FIFA インドネシア代表、事業実施コンサルタントなど関係者が集まり、各々の経験や知見を共有しました。フェーズ３として、来年半ばに「ASEAN フットボールフォーラム」をシンガポールで開催し、さらに ASEAN 行動計画に反映させるための取組を進めていきたいと思います。

ASEAN ビジネスと人権ワークショップ（2024 年９月 24 日、於バンコク）

●ビジネスと人権ワークショップ

スタートアップ・イノベーション関連ではありませんが、今月は日 ASEAN 人権協力で大きな進展がありました。９月 24 日にバンコクで、「責任あるビジネスと人権フォーラム（アジア太平洋地域）2024」のプログラムの一つとして、ASEAN 政府間人権委員会（AICHR） 及び東南アジア人権機構（SEANF） の共催で、「ASEAN のビジネスと人権分野における移民労働者の効果的救済・有効事例の共有に関する AICHR-SEANF ワークショップ」が JAIF の支援で開催されました。

このワークショップは、本年５月にジャカルタで開催された日 AICHR インターフェースの具体的なフォローアップとして実施されたものです。日本からは、私がビデオメッセージを送った他、公益財団法人国際民商事法センター理事、法務省法務総合研究所国際協力部教官、JICA 理事長特別アドバイザー（JP-Mirai 理事）など幅広い関係者が講演者やパネリストとして現地で出席し、議論に貢献しました。

ビジネスと人権の問題に日 ASEAN が協力して取り組むことは、日 ASEAN 双方の経済と社会の発展に大きく貢献するものです。これからも取組を進めていきたいと思います。

日 ASEAN 経済大臣会合
（2024 年 9 月 18 日、於ビエンチャン、経済産業省提供）

●経済・エネルギー大臣会合から首脳会議に向けて

９月は、ビエンチャンで ASEAN 経済大臣関連会合と ASEAN エネルギー大臣関連会合が相次いで開催されました。９月 21 日～22 日の ASEAN 関連経済大臣会合には吉田宣弘経済産業大臣政務官が出席し、「未来デザイン・アクションプラン（FDAP）」に新規 7 案件が加わり計 86 件となった他、「日 ASEAN AI イノベーションロードマップ」の提案や本年 12 月の日 ASEAN 経済共創フォーラムの東京開催発表など新たな進展がありました。

９月 27 日の ASEAN 関連エネルギー大臣会合には木原晋一資源エネルギー庁エネルギー・地域政策統括調整官が出席し、ASEAN エネルギービジネスフォーラムの AZEC セッションでプレゼンテーションを行いました。

ジャカルタでは、10 月の ASEAN 関連首脳会議に向けて、各種成果文書の準備が進んでいます。EAS 首脳会議に向けて、EAS 参加国による首脳声明交渉は今月下旬に作業部会から大使級に移行し、今は私自身が連日交渉に携わっています。ASEAN 主導の枠組みが、協力と対話の双方で最大限の成果を発揮するよう、首脳会議に向けて努力していきたいと思います。

ASEAN 代表部大使
紀谷昌彦